



電話交換室での対応

オレオレ詐欺防止 電話掛け当番

千葉県松戸市はつらつクラブ連合会

警察署から啓発電話

松戸市老連は、平成26年から松戸警察署に出向いて、電話による詐欺防止の活動を行っています。活動は月1回、6地区がそれぞれ年2回担当することになっています。

活動場所となる警察署の電話交換室には電話が4台。警察官2名も同席して、詐欺被害が疑われる場合は、すぐに警察官に電話を替わっています。

時間は10時から1時間30分。会員名簿をもとに電話をして、①詐欺と思われる電話や郵便、訪問などの有無の確認と、②警察が用意した詐欺の手法などの情報を伝えます。詐欺被害と思われる電話等を受けたという場合は、日にち、内容等を詳しく聞き取ります。留守の場合は、市老連の名前を伝え、「オレオレ詐欺防止」に向けて警察から電話をしているという啓発の伝言を残しています。終了後は、電話

をかけた相手先の住所、電話番号と内容を報告して帰ります。

初めての電話当番

7月は矢切地区が担当、地区会長、副会長、女性部長と市老連会長の4名が参加して、30人に電話をしました。活動前には、市生活安全課長より活動に対する謝辞とともに「高齢者はタンス預金をしている人が多く、詐欺に狙われやすいので気をつけていただくよう伝えて欲しい」と挨拶を受けました。初めて参加した副会長は、「とても緊張したが、警察官の方もいるので安心して取り組みました。自分の勉強にもなった」と感想を述べられました。

被害の未然防止

以前、電話をかけた一人暮らしの女性会員からは「病院に入院中、『老人会の人に頼まれて来た』と知らない人が訪ねて来て、医療費が戻る手続きについて話された」と報告を受けて、すぐに警察官に替わって対応してもらい、被害を防ぐことができました。名前は病室の入り口で調べたようでした。

これからも被害防止に向けて、みんなで取り組んでいきたいと考えています。

(会長 白鳥ひさじ)